

## 第 23 回放送番組審議会議事録

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和 3 年度は番組審議会の開催を見合わせ、番組審議会委員へ事業業況及び講評用の番組 DVD を送付し、ご意見、ご感想を寄せていただいた。

審議会委員	田渕 雅昭（会長）	前田 四寿子	中村 徹
（敬称略）	藤原 俊文	窪田 清恵	山本 泰子

### ●自主制作番組へのご意見、ご要望

- ・日頃から興味を持って番組を視聴していて、今やどの番組もなくてはならない番組になっている。
- ・地区公民館の活動を紹介する「つどう・まなぶ・むすぶ『ワクワク公民館』」のコーナーはありがたい。公民館を利用しているサークル活動の紹介なども含めてはどうか。
- ・コロナ禍で活動が制限されている公民館だが、地域を元気にするためにも「ワクワク公民館」を活用して発信すると良い。
- ・手話講座では、公民館でやっている手話教室を巡ってみてはどうか。
- ・とっとりウォーキングでは、これからも地域の情報を放送してほしい。
- ・「びよんびよん運動部」は、小さな子どもも一緒に楽しんでいる。
- ・コロナ禍で出かける機会が少ないこの時期、「ほのまるが行く」は、鳥取の良さを伝えるのに良い番組で、見ている側も笑顔になれる。
- ・農業番組の「TRY AFF」や「アグリ応援団」、「ほのまるが行く」など、楽しく見ている。
- ・市議会中継は市政に参加するよい機会だと思う。
- ・コロナ禍で地方での生活、移住などが注目されているので、移住者の生活環境、ワーケーションやリモートなど鳥取の良さや課題などを取り上げては。
- ・子育て中の人に向けた番組があれば良い。
- ・今後も地域の行事や話題など、楽しくて、ほっとする番組を期待している。
- ・コロナ禍で取材、事業の推進など大変だと思うが、中山間地は年々人口が減り、空き家が増えている。「地域の人が登場し、主役となり、発信する」という番組コンセプトのとおり取り組んでほしい。
- ・新型コロナ感染対策について市長が市民に話す番組があっても良い。

●視聴番組に対してのご意見、ご感想など 「まんぷく海鮮食堂」

- ・地元でとれる旬の食材を扱っていること、水川キャスターが調理するなどおもしろい取り組み。講師とキャスターの軽妙なおしゃべりがとても良く、身近なキャスターが料理するのは、自分も一緒にやっているようで楽しい。
- ・海産物のプロが教える知って得する知識や簡単に出来る調理方法などとても勉強になる。
- ・視聴者がやってみたいと思わせる番組になっている。今後も様々な海鮮料理を紹介してほしい。
- ・料理をしない人が見ても興味深い番組で、見ることで意識が変わる気がする。
- ・食堂が開かれる港の紹介があれば良い。
- ・食材についてももう少し詳しく話してほしい。
- ・出来上がった料理を漁場の人と一緒に食し、おいしさをPRしてほしい。
- ・番組に出演すれば視聴にもつながると思う。
- ・ゲストを招く回があっても良いのでは。